

トピックス

農業法人の設立

2018年3月、当行は地域企業等15社とともに
農業法人「株式会社フレッシュファームちば」を立ち上げました。



名称	株式会社フレッシュファームちば
設立日	2018年3月16日(金)
代表者	代表取締役 池田 等(千葉銀行 参与)
所在地	千葉県市原市牛久283-16
従業員数	1名(千葉銀行から出向)
資本金	1,450万円
株主	株式会社千葉銀行、アヅマ株式会社、小湊鐵道株式会社、株式会社せんだう、株式会社ちばぎん総合研究所、ちばぎんリース株式会社、千葉製粉株式会社、東方地所株式会社、株式会社ナナミ、株式会社日立製作所、平林物産株式会社、富洋観光開発株式会社、株式会社マザー牧場、株式会社武蔵野銀行、ほか2社(計16社) <small>※当行以外五十音順</small>
事業内容	農業
事業地	千葉県市原市皆吉(2.09ヘクタール)



どのような農業を目指していくの？



池田社長

農業の担い手不足や耕作放棄地の増加といった地域農業が抱える問題の解消に向けて、共同出資者の方々とともに持続可能な農業の新モデルを追求していきたいと考えています。法人経営による大規模化や6次産業化にも取り組んでいくなかで、IoTなどの先進技術も研究してまいります。また、就農希望者や近隣農家さんとの協働も重要であると考えており、農業をつうじた地域のコミュニティ形成を目指していきます。



農作物は何をつくるの？



社員の竹内さん
(千葉銀行から出向)

まずは市原市皆吉地区で約2ヘクタールの水田を借り受け、水稻栽培を始めています。地域の農家さんに受け入れてもらうこと、農業技術を身につけ、しっかりと収穫できるようにすることが当面の目標です。食味が良いお米がとれる地域ですので、秋にはおいしいお米をお届けしたいと思います。

千葉県とのBCP(業務継続体制)に関する協定の締結

2018年6月、千葉県と「災害時における県民に対する支援等への協力に関する協定」を締結し、災害発生時の情報提供や県民への防災に関する普及啓発活動などに県と協働して取り組んでいきます。

先進の基礎免震構造を採用する新本部棟(2020年9月竣工予定)は、災害発生時に700名程度が一時的に避難できるスペースがあり、避難者に水や物資の供給ができるほか、店舗ネットワークを活用して収集した情報を県と県民に提供する機能を備えています。



締結の様子



新本部棟イメージ